

■公の施設の中期経営目標一覧

指定管理者制度導入施設(13施設)

No.	施設名	目標	指標	実績値※	目標値	目標達成に向けた主な取組内容
1	武道館・兼六園弓道場・卯辰山相撲場	利用者数については、少なくとも現在の水準を下回らないよう更なる利用促進に努めます。	利用者数	109,876人 (H27)	110,000人 (H33)	<ul style="list-style-type: none"> ○施設の利用促進 <ul style="list-style-type: none"> ・近隣の小・中学校、施設等への積極的なPR活動、小学生対象の剣道体験教室や親子柔道教室の開催など、未経験者へのきっかけ作りによる競技人口の拡大 ・平成28年度に畳を全面交換した武道館柔道場や幽玄な雰囲気のある兼六園弓道場をホームページ等により積極的に情報発信 ・従来の武道に加え、地域住民の要望に応じて空手道や、合気道、少林寺拳法、ストレッチ体操教室等の教室にも施設を提供 ○県内武道の競技力向上 <ul style="list-style-type: none"> ・武道館協議会や競技団体と連携した中・高校生対象の武道錬成大会、指導者対象の研修会の開催 ○利用者サービスの向上 <ul style="list-style-type: none"> ・スタッフに対する接遇研修を引き続き実施するほか、アンケートボックスによる幅広い利用者ニーズの収集と運営改善
			利用者アンケートにおける満足度(利用者サービス)	88.1% (H27)	90%以上 (H33)	
			利用者アンケートによる満足度において、利用者サービスは90%以上を目指し、施設の維持・管理は引き続き90%以上を維持します。	利用者アンケートにおける満足度(施設の維持・管理)	91.4% (H27)	
2	いしかわ総合スポーツセンター	個人利用者数を5年間で5%増加させます。	個人利用者数	211,664人 (H27)	222,000人 (H33)	<ul style="list-style-type: none"> ○施設の利用促進 <ul style="list-style-type: none"> ・楽しみながら運動するレッスン(ヨガ、エアロビクス等)やスポーツ上達を目指したスクール(テニス、水泳等)の開催 ・アスリートの底辺拡大を目的とするジュニア向け運動セミナーや、栄養士、トレーニング指導士などによる成人向け健康教養講座を新たに開催 ・全県、全国規模の各種スポーツ大会に加え、大学の入学式・卒業式やコンサートなどスポーツ以外のイベントへの積極的な開催誘致 ○利用者サービスの向上 <ul style="list-style-type: none"> ・隣接する西部緑地公園内の各種施設と連携し、催し物・イベント情報の共有による駐車場の相互提供など ・スタッフに対する教育訓練を引き続き実施するほか、アンケートボックスによる幅広い利用者ニーズの収集と運営改善
			利用者アンケートにおける満足度(利用者サービス)	95.7% (H27)	95%以上 (H33)	
			利用者アンケートによる満足度において、利用者サービスは引き続き95%以上を維持し、施設の維持・管理は95%以上を目指します。	利用者アンケートにおける満足度(施設の維持・管理)	94.7% (H27)	
3	いしかわ動物園	利用者数を5年間で355,000人にします。	利用者数	344,344人 (H27)	355,000人 (H33)	<ul style="list-style-type: none"> ○施設の利用促進 <ul style="list-style-type: none"> ・世界的にも希少なホワイトタイガーの新たな導入など、展示動物の充実を図るとともに、来園者に動物本来の姿や迫力が伝えられるよう、展示方法を工夫 ・ふれあいまつりやナイトズーなどの大型イベントを引き続き実施するとともに、動物と直接ふれあうことができる「ふれあいタイム」や「おやつタイム」といった子どもに人気のある企画を充実 ・平成28年にオープンした「トキ里山館」を最大限活用し、他の動物園との差別化を図った積極的な情報発信 ○利用者サービスの向上 <ul style="list-style-type: none"> ・地域に縁の深い希少種であるイヌワシやライチョウなどの保護増殖や、世界的な希少種であるコビトカバ、アムールヒョウなどの保存に取組み、動物学習センターなどで分かりやすく展示 ・電子マネー・クレジット端末の導入など、来館者のニーズを踏まえた利便性の向上
			利用者アンケートにおける満足度(利用者サービス)	99.0% (H27)	95%以上 (H33)	
			利用者アンケートによる満足度は、引き続き95%以上を維持します。	利用者アンケートにおける満足度(施設の維持・管理)	99.0% (H27)	

No.	施設名	目標	指標	実績値※	目標値	目標達成に向けた主な取組内容
4	石川県ふれあい昆虫館	利用者数を5年間で110,000人にします。	利用者数	103,952人 (H27)	110,000人 (H33)	<p>○施設の利用促進</p> <ul style="list-style-type: none"> 年間を通じて蝶が舞う姿を見ることができる「チョウの園」(放蝶温室)における月間放蝶数10種1000匹の維持 五感に訴えた体験展示、GWや夏休みに人気のある外国産昆虫の展示、冬期の「オオゴマダラのクリスマスツリー」といったの季節ならではの企画展示の充実 各展示施設や昆虫の魅力、イベントをホームページやメールマガジンなどの各種媒体を活用した的確でタイムリーな情報発信 <p>○利用者サービスの向上</p> <ul style="list-style-type: none"> 本県で絶滅の恐れのあるイカリモンハンミョウやシャープゲンゴロウモドキ、福井県の一部にのみ生息するヤシヤゲンゴロウの生息域外保全と分かりやすい展示 電子マネー・クレジット端末の導入など、来館者のニーズを踏まえた利便性の向上
		利用者アンケートによる満足度は、引き続き95%以上を維持します。	利用者アンケートにおける満足度(利用者サービス)	99.8% (H27)	95%以上 (H33)	
			利用者アンケートにおける満足度(施設の維持・管理)	99.4% (H27)	95%以上 (H33)	
5	石川県海の自然生態館	利用者数を5年間で450,000人にします。	利用者数	426,033人 (H27)	450,000人 (H33)	<p>○施設の利用促進</p> <ul style="list-style-type: none"> 海の生きものについて来館者の理解を促すため、芸能人によるトークショーといった話題性の高いイベントの実施 来館者数が減少する冬期対策として、こたつに入りながら魚たちを観察できる「こたつde水族館」といった企画展示の工夫 来館者のニーズを踏まえた解説板や飼育員による展示生物ガイドの内容の充実 展示施設の魅力や魚たちのニュース、イベントをホームページやテレビCMなどの各種媒体を活用したタイムリーな情報発信、ラッピングバスの運行といったPR方法の工夫 <p>○利用者サービスの向上</p> <ul style="list-style-type: none"> 電子マネー・クレジット端末の導入など、来館者のニーズを踏まえた利便性の向上
		利用者アンケートによる満足度は、引き続き95%以上を維持します。	利用者アンケートにおける満足度(利用者サービス)	98.6% (H27)	95%以上 (H33)	
			利用者アンケートにおける満足度(施設の維持・管理)	100% (H27)	95%以上 (H33)	
6	いしかわ四高記念公園、本多の森公園	自主事業参加者数を5年間で10%増加させます。	自主事業参加者数	50,050人 (H27)	55,000人 (H33)	<p>○公園の利用促進</p> <ul style="list-style-type: none"> 「兼六園周辺文化の森」としての安全で美しい緑地空間を確保するため、公園と調和した樹木の剪定・植栽、緑地帯や園路等の適切な維持管理 山野草の小径づくりやロックガーデンづくりといった花壇管理を近隣児童館と連携した参加型イベントを開催 都心部の立地条件を活かし、新たに周辺の結婚式場やカメラマンと連携し、園内での結婚式前撮りを呼びかけ、景観美による彩りを創出 ホームページや園内掲示板によるイベント告知のほか、四季折々の草木や花の情報を発信 <p>○利用者サービスの向上</p> <ul style="list-style-type: none"> 周辺の観光・文化・商業施設の情報案内にも対応できるよう、スタッフに対する指導を徹底 トイレ清掃を利用者の少ない朝の時間帯に迅速に実施
		利用者アンケートによる満足度は、引き続き95%以上を維持します。	利用者アンケートにおける満足度(利用者サービス)	100% (H27)	95%以上 (H33)	
			利用者アンケートにおける満足度(施設の維持・管理)	100% (H27)	95%以上 (H33)	

No.	施設名	目標	指標	実績値※	目標値	目標達成に向けた主な取組内容
7	奥卯辰山健民公園	利用者数を5年間で5%増加させます。	利用者数	193,685人 (H27)	204,000人 (H33)	<p>○公園の利用促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パークゴルフ大会や親子向けイベント「はだしの王国奥卯辰」の開催のほか、ネイチャーウォークラリーで公園の魅力やエリアごとの特色を紹介 ・平成30年から供用される新公園センターの広大なロビーを活用したボディケアやスポーツ教室など、雨天に左右されない新たな自主事業を実施 ・いしかわ自然学校と連携し、親子で参加できる農業体験といった自然体験プログラムの充実 ・イベントチラシを市内小学校に加え、新たに子ども交流センターなどの子どもの利用が多い施設にも配布 <p>○利用者サービスの向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・デイキャンプ場でのケータリング仲介サービスの実施、利用者ニーズに沿ったメニューの見直し ・手ぶらで来園しても楽しめるよう、スポーツ用品や遊具を貸し出し
			利用者アンケートにおける満足度 (利用者サービス)	98.3% (H27)	95%以上 (H33)	
		利用者アンケートによる満足度は、引き続き95%以上を維持します。	利用者アンケートにおける満足度 (施設の維持・管理)	99.2% (H27)	95%以上 (H33)	
8	犀川緑地	自主事業参加者数を5年間で10%増加させます。	自主事業参加者数	1,784人 (H27)	2,000人 (H33)	<p>○公園利用の促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・季節ごとの公園の魅力やエリアごとの特色を活かした各種イベントの開催のほか、平成28年の法島地区完成記念イベントで実施した桜の剪定枝の配布を毎年実施 ・近隣の町内会や学校、ボランティア団体との協働による花壇植栽や自然観察会等の開催 ・イベント開催情報等、ブログによるリアルタイムな情報発信 <p>○利用者サービスの向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開設から40年を経過した区域もあり、樹木が大木化していることから、道路や民家沿いに重点を置いた適度な間引きを計画的に実施 ・イベント時に配布しているバリアフリーゾーンや車いす利用に関する案内マップをより見やすいものに見直し
			利用者アンケートにおける満足度 (利用者サービス)	99.2% (H27)	95%以上 (H33)	
		利用者アンケートによる満足度は、引き続き95%以上を維持します。	利用者アンケートにおける満足度 (施設の維持・管理)	98.4% (H27)	95%以上 (H33)	
9	北部公園	利用者数を5年間で3%増加させます。	利用者数	130,064人 (H27)	134,000人 (H33)	<p>○公園の利用促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・季節ごとの公園の魅力やエリアごとの特色を活かした体験型イベントやスマートフォンを使って樹木学習ができるウォークラリー等の開催 ・平成27年から実施しているカブトムシやクワガタが採集できるビートルガーデンのホームページやリーフレットの作成・配布による積極的な情報発信 ・イベントの告知や四季折々の風景の掲載など、ブログによるリアルタイムな情報発信 <p>○利用者サービスの向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・手ぶらで来園しても楽しめるよう、スポーツ用品や遊具を貸し出し ・高齢者や身体が不自由な方に配慮した車いすの貸し出し、わかりやすい案内サインや転倒の危険がある場所での注意喚起の看板の設置
			利用者アンケートにおける満足度 (利用者サービス)	97.5% (H27)	95%以上 (H33)	
		利用者アンケートによる満足度は、引き続き95%以上を維持します。	利用者アンケートにおける満足度 (施設の維持・管理)	98.1% (H27)	95%以上 (H33)	

No.	施設名	目標	指標	実績値※	目標値	目標達成に向けた主な取組内容
10	白山青年の家	利用者数を5年間で2%増加させます。 利用者アンケートによる満足度は、引き続き95%以上を維持します。	利用者数	23,023人 (H23~H27 平均)	23,500人 (H33)	<ul style="list-style-type: none"> ○施設の利用促進 <ul style="list-style-type: none"> ・ウォークラリーコースの新設やクラフト活動など、新たな体験プログラムの開発 ・地域の人材や教育力を活用した独自事業「さとやまサロン」の充実 ・白山市の広報誌や地域への情報誌にイベント情報の掲載 ・地域の公民館や女性団体、老人会等への働きかけの強化(閑散期及び平日利用の促進) ○利用者サービスの向上 <ul style="list-style-type: none"> ・施設内外の清掃の徹底、利用者への笑顔と気持ちのよい対応、館内掲示の工夫 ・定期的に接遇等の職員研修を実施 ・利用者のニーズや満足度を把握するためアンケート調査や職員による聞き取り調査の実施
			利用者アンケートにおける満足度(利用者サービス)	98.2% (H27)	95%以上 (H33)	
			利用者アンケートにおける満足度(施設の維持・管理)	100% (H27)	95%以上 (H33)	
	白山ろく少年自然の家	利用者数を5年間で2%増加させます。 利用者アンケートによる満足度は、引き続き95%以上を維持します。	利用者数	18,484人 (H23~H27 平均)	18,900人 (H33)	<ul style="list-style-type: none"> ○施設の利用促進 <ul style="list-style-type: none"> ・白山手取川ジオパークを活用した活動プログラムの開発 ・白山恐竜パーク白峰など近隣施設との連携による活動プログラムの充実 ・白山市の広報や地域の情報誌にイベント情報を継続的に掲載 ・学校関係やスポーツ団体へ出向いてのPRの強化 ○利用者サービスの向上 <ul style="list-style-type: none"> ・施設内外の清掃の徹底、利用者への笑顔と気持ちのよい対応、館内掲示の工夫 ・定期的に接遇等の職員研修を実施 ・利用者のニーズや満足度を把握するためアンケート調査や職員による聞き取り調査の実施
			利用者アンケートにおける満足度(利用者サービス)	100% (H27)	95%以上 (H33)	
			利用者アンケートにおける満足度(施設の維持・管理)	98.0% (H27)	95%以上 (H33)	
11 鹿島少年自然の家	利用者数を5年間で4%増加させます。 利用者アンケートによる満足度は、引き続き95%以上を維持します。	利用者数	13,697人 (H23~H27 平均)	14,250人 (H33)	<ul style="list-style-type: none"> ○施設の利用促進 <ul style="list-style-type: none"> ・施設周辺の自然を利用したオリエンテーリングやクラフト活動等の新規プログラムの開発 ・りんご狩りやたけのこ採り、地引網体験など近隣施設や指定管理者が管理する他施設と連携した活動プログラムの充実 ・中能登地区の小中学校訪問による学校行事や授業、子ども会等での施設利用の働きかけ ・中能登地区の公民館訪問による老人会・婦人団体・青年団などへの施設利用の働きかけ ○利用者サービスの向上 <ul style="list-style-type: none"> ・施設内外の清掃の徹底、利用者への笑顔と気持ちのよい対応、館内掲示の工夫 ・定期的に接遇等の職員研修を実施 ・利用者のニーズや満足度を把握するためアンケート調査や職員による聞き取り調査の実施 	
		利用者アンケートにおける満足度(利用者サービス)	100% (H27)	95%以上 (H33)		
		利用者アンケートにおける満足度(施設の維持・管理)	97.2% (H27)	95%以上 (H33)		

No.	施設名	目標	指標	実績値※	目標値	目標達成に向けた主な取組内容
12	能登少年自然の家	利用者数を5年間で2%増加させます。	利用者数	22,129人 (H23~H27 平均)	22,600人 (H33)	○施設の利用促進 ・雨天時や荒天時のクラフト活動や学習プログラム、閑散期の新規プログラムの開発 ・満天星や運動公園などの近隣施設や指定管理者が管理する他施設と連携した活動プログラムの充実 ・能登地区の小中学校訪問による学校行事や部活動、子ども会等での施設利用の働きかけ ・金沢市を中心としたスポーツクラブやスポーツ少年団、ボーイスカウトなどの団体へのダイレクトメール等を活用した施設利用の働きかけ ○利用者サービスの向上 ・施設内外の清掃の徹底、利用者への笑顔と気持ちのよい対応、館内掲示の工夫 ・定期的に接遇等の職員研修を実施 ・利用者のニーズや満足度を把握するためアンケート調査や職員による聞き取り調査の実施
		利用者アンケートによる満足度は、引き続き95%以上を維持します。	利用者アンケートにおける満足度(利用者サービス)	100% (H27)	95%以上 (H33)	
			利用者アンケートにおける満足度(施設の維持・管理)	100% (H27)	95%以上 (H33)	
13	自然史資料館	入館者数を5年間で7,000人にします。	入館者数	5,022人 (H27)	7,000人 (H33)	○施設の利用促進 ・学校との連携を密にした学習内容に繋がる出前講座や講演会の開催 ・子どもたちを対象とした夏休み期間中の講座内容の拡充 ・大学や文化・研究施設と連携した収蔵資料の貸借などによる魅力的な展示や講座の実施 ・魅力に富む多彩な自然に恵まれた自然史資料館周辺での野外活動の充実 ・スマートフォンを活用した若い世代向け情報発信 ○利用者サービスの向上 ・教師経験を持つボランティアによる展示説明や野外観察の指導
		館外事業参加者数(出前講座、野外活動等)を5年間で1,300人にします。	館外事業参加者数	1,218人 (H27)	1,300人 (H33)	
		利用者アンケートによる満足度は、引き続き95%以上を維持します。	利用者アンケートにおける満足度(利用者サービス)	100% (H27)	95%以上 (H33)	
			利用者アンケートにおける満足度(施設の維持・管理)	98.0% (H27)	95%以上 (H33)	

※ 過去5年間における利用者数のばらつきが大きい施設(白山青年の家、白山ろく少年自然の家、鹿島少年自然の家、能登少年自然の家)の実績値は、H23~H27平均とした